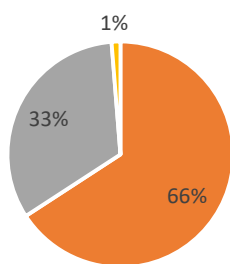


個人アンケート集計に基づいた総合評価(2/2) (令和元年度分)

生活の項目

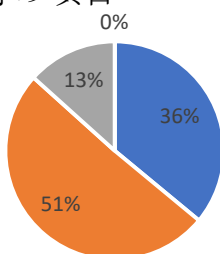


【評価・反省】

・生活の項目に関しては、良が41%,可が39%と合計が80%で不十分と不可の合計が20%という結果となった。
前年度より若干良い評価となっているが、職員も忙しくゆとりがなかったように感じる。
次年度は職員も採用し、もう少しゆとりをもって保育をしたい。

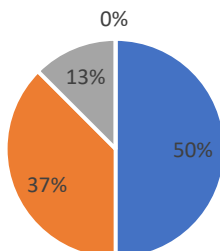
■ 良 ■ 可 ■ 不十分 ■ 不可

保育の項目



・保育の項目について、良が36%,可も51%と合計が87%で不十分と不可の合計が13%という結果となった。
今年度の課題となっていた食育では検討会議を多く行い、野菜の植え付けや、家族参加で収穫、調理の流れなど、前年度より強化する事が出来た。

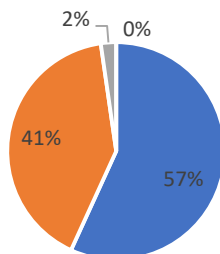
社会性の項目



・社会性の項目について、良が50%,可も37%と合計が87%で不十分が13%という結果となった。
・前年度よりも数値が上がり、不十分と回答する職員も減少している。職員間の連携も前年度より高まり、協力し切磋琢磨しながら社会性を身につけている。
次年度も高めていけるようにしていきたい。

0歳児クラス

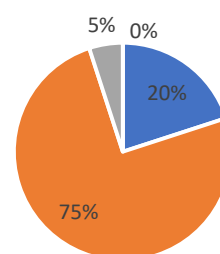
保育士の項目



・0歳児クラスの保育士の項目についても、良が57%,可も41%と合計が98%と高い結果となった。不十分、不可も2%という結果となった。
・不十分となった項目は、「保護者にも大好きな言葉かけの大切さの重要性をつたえ実践してもらっている」という項目が少し不可が多かったので次年度は、保護者へ園児への言葉かけの大切さを伝えていきたいです。

1～2歳児クラス

保育士の項目

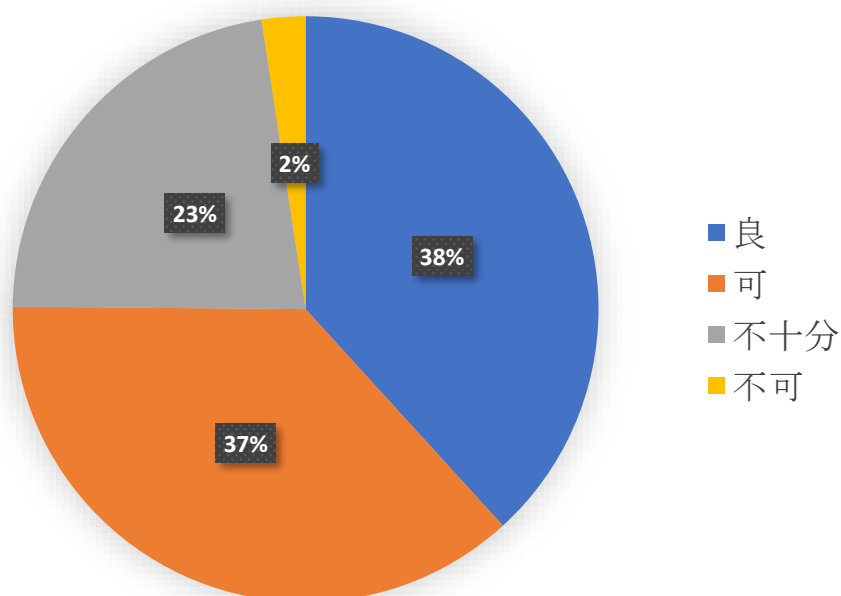


・1～2歳児クラスの保育士の項目について、良が20%,可が75%で合計が95%,不十分が5%,という結果となった。
・一番不十分となった項目は、「こども同士の揉め事等に対して適切な関わりができていない」という項目が多いため、次年度は0歳児クラスを見習い良いを増やす努力と揉め事の対応を職員間で話し合い、次年度改善に努めていきたい。

個人アンケート集計に基づいた総合評価(1/2) (平成31年度分)

平成31年度の活動状況の評価を各保育士にアンケート形式で行っていただきました。
(集計結果を下記及び次頁に示す)

全体の評価



アンケート集計結果及び園管理者の対策

- ・34%の保育士が「良い」と評価している
⇒保育士それぞれが良いと評価しているところに関しては、現状維持に満足せず去年より少しでも更によくするように声かけをする。
- ・38%の保育士が「可」と評価している
⇒個々の理想には足りないが、全体的には足りてると判断している。
理想に足りない原因を考え、それを取り除くかどうかを判断すること。
- ・25%の保育士が「不十分」と評価している
⇒理想及び全体的に足りないと判断している。
足りない原因を考え、園内研修や足りないと思っているところの外部研修を受講させて本人と可になるようにはどうするかを一緒になって考えて次年度は少しずつ改善する必要がある。
- ・3%の保育士が「不可」と評価している。
⇒大きな問題の可能性はある。個人もしくは園全体に原因がある。
評価者と早急に面談をし、問題点に対して、確実に、早急に行動を起こすこと。

※全体の評価は各項目の評価をまとめたものであり、詳細は次頁以降参照願います。